

「60周年記念日本のうたごえ祭典 in 東京」女性のうたごえ合唱を成功させるために

2008年10月

60周年記念日本のうたごえ祭典 in 東京 女性のうたごえ合唱を成功させる会
秋風の快い季節となりました。みなさま、様々な分野でご活躍のことと思います。

「日本のうたごえ運動」は、戦後間もない1948年、敗戦の混沌としたなか、生きる希望を失っていたたくさんの人々に「歌うことの楽しみを伝えたい」「二度と戦争を繰り返さない」「人間らしくしあわせに過ごしたい」等の願いを持って声楽家の故 関 鑑子氏の提唱で生まれた運動です。この運動は全国各地に広がり、1953年に第1回の日本のうたごえ祭典が東京で開かれました。以後、毎年全国各地で開かれ、今年60周年記念の祭典が東京で開かれます。

「夢・未来 輝け九条！」をメインテーマにして、「今こそ憲法を守り輝かせたい」「誰もが人間らしく生き働けるように」「子どもたちに明るい未来を」の思いを歌いかわす祭典を成功させたいと願っています。この中で、1000人の女性の歌声を実現しようと「女性のうたごえを成功させる会」を立ち上げて活動しています。1ヶ月後に迫った、日本のうたごえ祭典 in 東京にもう一回「歌って参加の輪を広めるために、皆様のご参加をお待ちしています。

演奏日程 11月24日(月 休)大音楽会<希求 ねがい>(有明コロシアム)

演奏曲目 「花」武島羽衣作詞 滝廉太郎作曲

「いとしよ」小森香子作詞 原田義雄作曲

指揮者 辻 志朗さん(日本合唱指揮者協会会員)

60周年記念日本のうたごえ祭典 in 東京 呼びかけ賛同人(敬称略 順不同)

井上美代(女性九条の会/世話人/新日本婦人の会代表委員) 木村康子(日本母親大会代表委員)

小森香子(詩人) 高田公子(新日本婦人の会会長) 堀江ゆり(日本婦人団体連合会会長)

女性のうたごえ合唱を成功させる会呼びかけ人(敬称略 順不同)

阿部春枝(日本国家公務員労働組合連合会女性協議会議長) 有蘭栄子(東京母親連絡会委員長)

太田千枝子(日本医療労働組合連合会女性協議会議長) 小畑雅子(全日本教職員組合女性部部長)

上伸子(新日本婦人の会東京都本部会長) 岸松江(自由法曹団女性部弁護士)

柴田真佐子(全国労働組合総連合女性部部長) 前田祥子(東京地評女性センター連絡会代表)

今こそ歌ってほしい - いとしよ -

小森香子

この詩は、1980年8月16日「新婦人とうきょう」紙上にはじめて掲載された。“この両手の重みそれは地球の重さこの胸のぬくもりそれは愛……”この歌をうたう時、私の心の中には娘まどかの切り絵「母と子」が浮かんでくる。この年の春4月、数多くの切り絵作品を残して彼女は労山チヨーオーユー登山隊の訓練中、雪の黒部谷に散った。「母と子」の絵は今も多くの人々に愛され、東京非核政府を求める会のホームページ・マークになったり絵はがきにもなって人々の心の中に在る。そして、この歌も原田義雄氏のあたたかい曲を得て愛され、NHKみんなのうた30周年記念作品の佳作にも選ばれている。あんなにも歌が好きで「うたごえ」の少年班で活躍した亡き娘も千の風となって歌ってくれているに違いない。この詩は「青い空は」の延長線上にある。夏の少年少女キャンプでファイヤーを囲んで「青い空は」が歌われたとき、1年生の子が「いのちの重みってどんな重み？」ときいたそうだ。その子の母は膝に抱き上げて、「いのちの重みってあなたの重さ、そして地球上のみんなの重みよ」と答えた。この話をしてくれたのは「青い空は」の詩の選者でもあった児童文学者、山口勇子さんだった。「あなたの歌は、こんなふうに歌われているのよ」と買ってくれた。世界中の戦火を消そう。これ以上、子どもらを殺さないために、憲法9条を世界に輝かせよう

60周年記念日本のうたごえ祭典 in 東京 女性のうたごえ合唱を成功させる会

会長 福田由美子 副会長 高橋一美

169-0092 新宿区大久保 2-16-36 60周年記念日本のうたごえ祭典 in 東京事務所内

連絡先 大橋真理子 TEL 070-6400-2744 FAX 03-3916-0124 E-mail:j_utago60@yahoo.co.jp

女性のうたごえ合唱を成功させる会ホームページ URL:http://music.geocities.jp/j_utago60